

犯人の娘のための人質

- (1) 景気減速の最中、男が 5 人を人質にとり、アラバマにある地元銀行に立てこもった。
- (2) 24 時間以上警察の任務遂行を妨げた挙句、彼は水曜日の朝、降伏した。
- (3) その男は殺人未遂と凶器を用いた襲撃の罪で逮捕された。
- (4) 警察の話によると、警察が現場につく前に、人質の 1 人がひそかに母親にメールをして危険な状況を説明していた。
- (5) 警察は交渉のプロを呼び、12 時間後に人質のうち 3 人が無傷で解放された。
- (6) 解放された人質の 1 人が警察に語ったところでは、犯人の男が銀行に立てこもったのは、失業したばかりで、娘の大学の授業料を払うためにどうしてもお金が必要だったからだという。
- (7) 彼は子連れの子やもめで、娘に勉学を続けるように励ましていた。
- (8) 娘は彼の一族で初の大卒者になるはずだった。
- (9) 24 時間後、とうとう男は降伏し、残り的人質も解放された。
- (10) 娘が通っていた大学がこのニュースを耳にし、彼女に多額の奨学金を与えた。